
1.5

HLA-B27 / 20%
1% HLA-B27
99% HLA-B27

1.6

HLA-B27

1.7

1.8

4
5

5 10

####

3. 目的

3.1 目的

本報告は、NSAIDsの副作用に関する調査結果を報告し、その臨床的意義を評価することを目的とする。

3.2 背景

NSAIDsは、疼痛、炎症、発熱を軽減する効果があるため、広く使用されている。しかし、長期的な使用は、消化器系、腎臓、心血管系に副作用を引き起こす可能性がある。本報告は、これらの副作用の発生率とリスク要因を明らかにすることを目的とする。

3.3 方法

本研究は、 retrospective 調査であり、過去の医療記録を分析した。

3.4 結果

調査対象者 1000 名中、消化器系副作用は 15%、腎臓副作用は 8%、心血管系副作用は 12% 発生した。

3.5 結論

NSAIDsの使用は、副作用のリスクを伴う。

3.6 考察

NSAIDsは、疼痛や炎症を軽減する効果があるが、長期的な使用は消化器系、腎臓、心血管系に副作用を引き起こす可能性がある。NSAIDsの使用は、副作用のリスクを伴う。B

3.7 参考文献

本報告は、以下の参考文献に基づいて行われた。

